

第2章 自然公園として大事にすべき特徴・価値

第2章 自然公園として大事にすべき特徴・価値

東京の自然公園の現状を踏まえると、大事にすべき特徴・価値としては、①多様性と連続性が織りなす豊かな自然環境、②人の営みとの関係性、③都心部からの近接性が挙げられます。

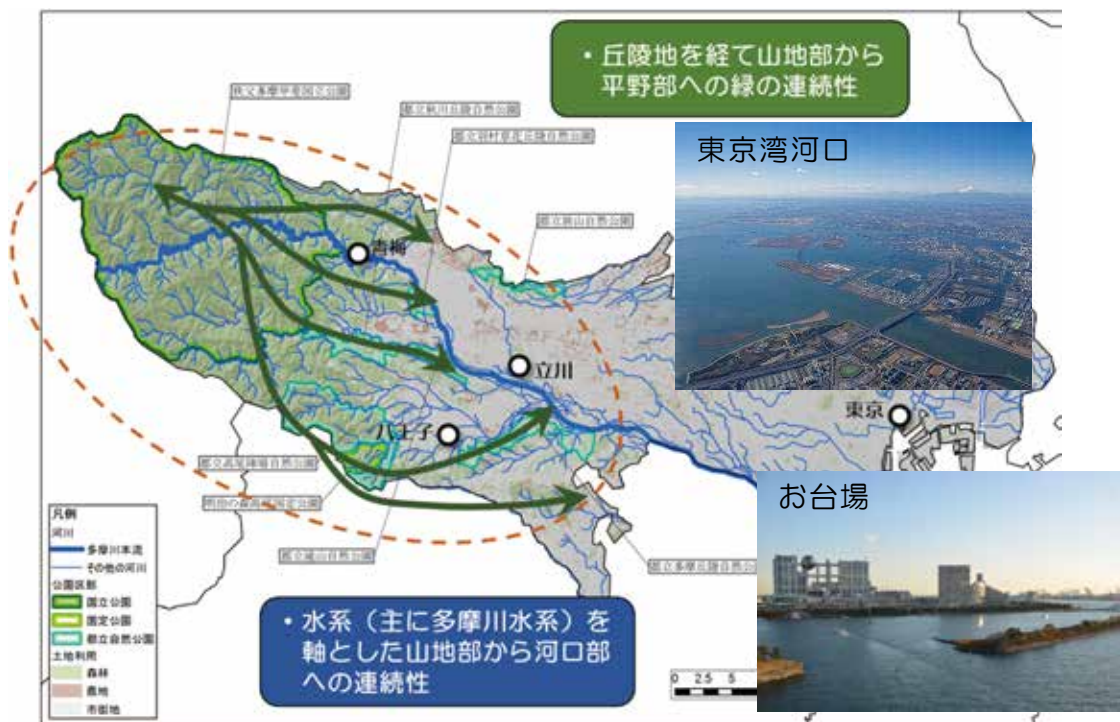
1 多様性と連続性が織りなす豊かな自然環境

【多摩部】

多摩部の自然公園は、亜高山帯から丘陵地までの多様な自然環境を有し、山岳や渓谷などの変化に富んだ地形や、平野部への緑の連続性が見られます。

また、これらの連続性は、山地部から河口までつながる多摩川水系を軸としています。

このように、多摩部の自然公園は、それぞれが豊かな自然環境を有しているだけでなく、緑や水系によりつながることで、全体としてより多様性に富んだ一体的な自然環境となっています。



《緑や水系による自然の多様性と連続性》



《亜高山帯の雲取山》



《多摩川上流の鳩ノ巣渓谷》

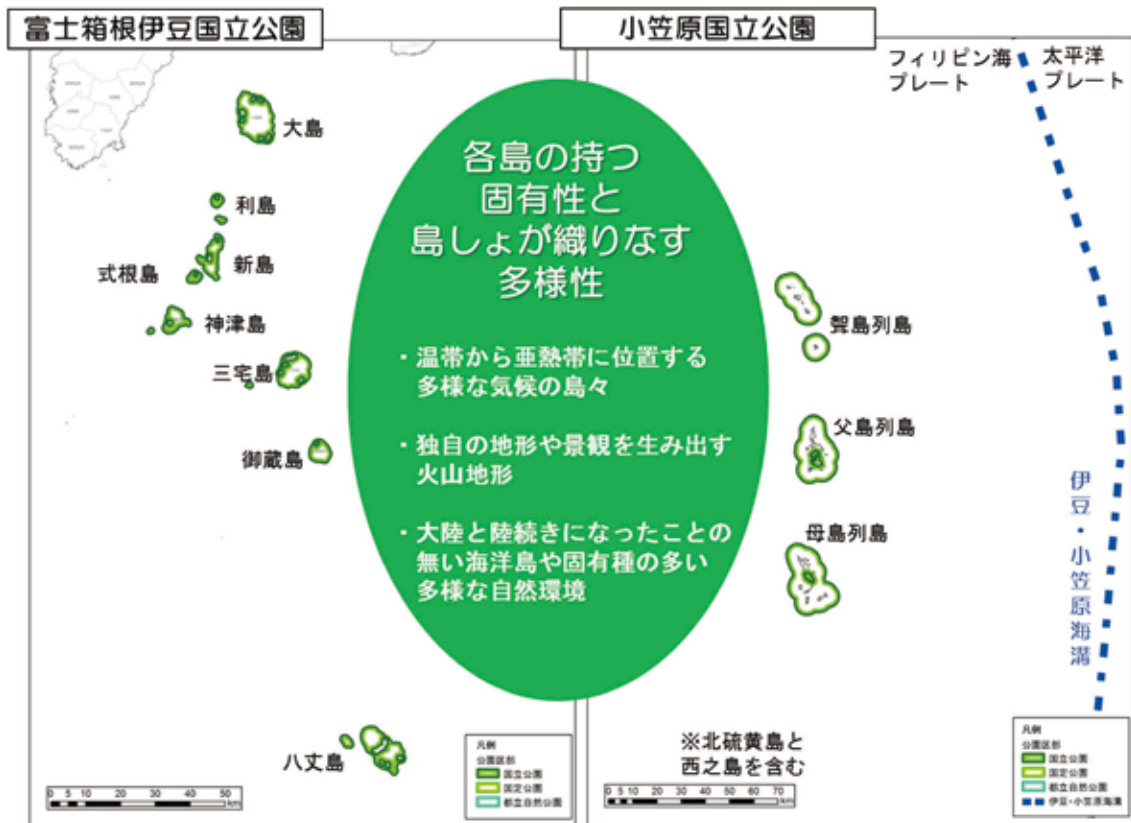


《丘陵地の二次林》

【島しょ部】

島しょ部は、温帯から亜熱帯の多様な気候帯にあり、火山活動に由来する独自の地形や景観を持つ島々が連なっています。

これらの各島は、それぞれが多くの固有種や固有亜種を育んでいます。



《各島の持つ固有性と島しょが織りなす多様性》



《大島 三原山》



《利島 宮塚山》



《神津島 赤崎》



《御蔵島 御代ヶ池》



《小笠原諸島 (左：南島 右：兄島)》



2 人の営みとの関係性

東京の自然公園エリアは、豊かな自然を有しているだけでなく、人の営みと自然との関係性が強いという特徴が見られます。

人の営みと自然との関係性としては、農林業や漁業等の自然の恵みによる第一次産業や、それらを元にした第二次産業が盛んで、豊かな自然を活かした観光産業等も展開されています。

また、自然公園内に位置する集落、山岳信仰やお祭り、自然の恵みを活かした食文化など多様な文化が受け継がれています。

さらに、自然公園及びその周辺には、寺社や城跡等の歴史的資源が多く残されています。

このように、東京の自然公園においては、様々な人の営みと自然との関係性が見られます。



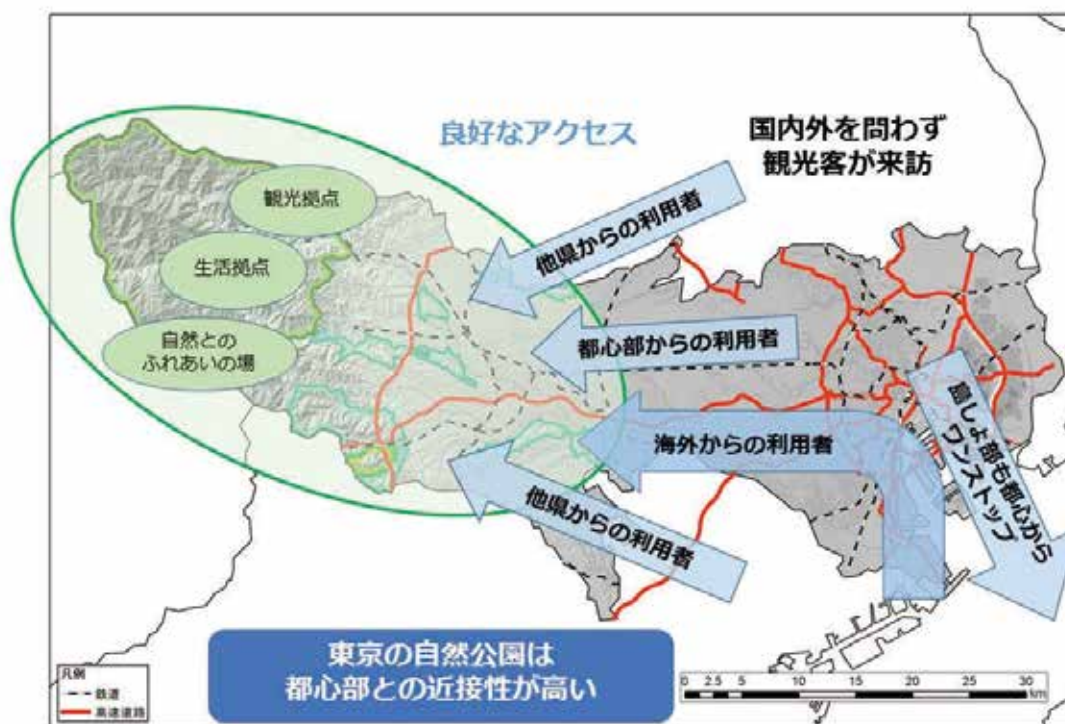
《人の営みと関係性のイメージ》

3 都心部からの近接性

東京の自然公園の多くは、都心部からのアクセスが比較的良好であるという特徴が見られます。

そのため、登山やハイキングのほかに観光やスポーツ等の目的で、気軽に日帰りでも訪れることができます。

都心部には多くの人々が居住し、また、内外から来訪する人も多いことから、その近接性を活かして自然公園にもたくさんの人が訪れています。



《都心部からの近接性のイメージ》